



We Serve

The International Association Of Lions Clubs

ライオンズクラブ国際協会 336-A 地区 地区誌

1.2.3

No.3

2008.第61巻

平成20年3月31日発行



ライオンよ、熱き想い・強い絆でウイサーブ

情熱・感動

地区ガバナー 三谷 智省

皆様方には常日頃からライオニズムの昂揚の為に活動頂き誠にありがとうございます。

先ず、嬉しいニュースがあります。と申しますのは、12月10日(月)複合地区にて開催されました「国際平和ボスター・コンテスト審査会」に於いて、我が地区から選出した岸本浩一郎さん(土佐中学校2年生・高知北LC)の作品が見事最優秀賞の栄誉に輝かれ、国際協会の審査会に駒を進めることとなりました。誠に喜ばしい快挙であり、ぜひ「世界レベルでも最優秀賞を！」と願わずにはおれません。各クラブに於かれましても、これを契機として、更にこのコンテストへの積極的参加を祈念致します。

さて、今期も半年を経過いたしました。各クラブ会長の皆様方には、当初の計画通りに運営が進んでいますでしょうか。

わたくしは、今期「会員増強」と「CSFⅡ目標達成」を二大重点事項として取り上げ、皆様方にご協力頂くべくお願いをして参りました。お陰様を持ちまして現在までのところ順調に進んでいる状況です。

引き続き新会員招請・退会防止に意を注いで頂きますようよろしくお願い致します。

また、最終年度を迎えるCSFⅡキャンペーンに付きましても尚一層のご尽力をお願い致します。

いよいよ4月には高知にて第54回地区年次大会が開催されます。今期の活動を締め括り、次期の地区ガバナー・副地区ガバナーを選出する重要な大会です。一人でも多くのクラブ会員の皆様方に登録参加頂き、各々の「絆」を更に強めることが出来ればと考えています。現在、地区年次大会委員会のスタッフを中心にホストクラブが力を合わせその準備に励んでいます。

皆様方に年次大会にてお会い出来ることを楽しみにしています。





INDEX

- 地区ガバナー挨拶
- 2 国際平和ポスターコンテスト
- 4 我がクラブのアクティビティ
- 20 CSF II 特集
- 22 日韓ショートステイ
日韓青少年親善交流一帰国報告会
- 24 Anniversary
- 25 地区年次大会
- 26 YE スキー研修
- 28 キャビネット会議・
第46回東洋・東南アジアライオンズフォーラム
- 29 第2回 四国女性ライオンズフォーラム・
ちょっとしたきっかけで
- 30 特別寄稿 かかわり合い、育ち合う
- 32 336-A 地区会員状況
- 33 物故会員

表紙◆ 日本ではとても珍しい屋根付き橋 御幸の橋

大洲市河辺村には、浪漫八橋といって八つの屋根付き橋が現存する全国的にも珍しい村として注目されています。その中で県指定民俗文化財になっている屋根付き橋が「御幸の橋」です。

「御幸の橋」は天神社が創設された安永2年（1777年）参道にある河辺川に架けられた太鼓橋で、雨露を防ぐためスギ皮葺きの屋根がつけられています。

現在の橋は明治19年（1886年）に架けられたものです。

3R-1Z 大洲ライオンズクラス 濱田耕造

マヘンドラ・アマラスリヤ国際会長公式訪問

2007年12月23日(日)午後4時30分、京都オークラホテルに於いて334・335・336・337複合地区合同主催にて、マヘンドラ・アマラスリヤ国際会長ご夫妻をお迎えする公式訪問が開催された。西日本の各複合地区から総勢約400名、336複合は57名、その内我々336-A地区からは16名の登録を得てご夫妻の来日・来訪を歓迎しました。

国際会長の穏やかな口調の中にも、ライオニズムの更なる高揚を目指す情熱を内に秘めた真摯なスピーチぶりに心を打たれました。また、日本の各クラブ・クラブ会員のCSF II キャンペーンに対する尽力に丁寧な感謝の言葉を頂きました。午後6時からの晩餐会は、京都らしく舞妓衆の艶やかな舞踊で始まり、和やかな雰囲気の中、国際会長ご夫妻との記念写真撮影や、地区を超えた役員同士の交流が盛んに行われていました。午後8時のお開きを迎えるまでの4時間近く充実感を味わうことが出来ました。

三谷地区ガバナーがよくおっしゃる「世界最大の奉仕団体」に所属していることを実感することが出来、感謝・感謝の一日でした。

キャビネット幹事 高橋 光男



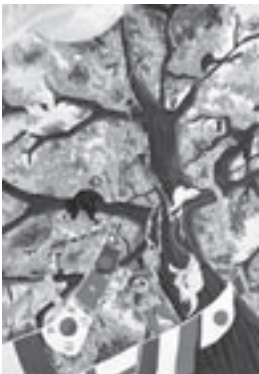
336 複合地区審査結果

賞	地区	氏 名	学校・学年	スポンサークラブ
最優秀賞	A	岸本浩一郎	土佐中学校 2 年	高知北
優 秀 賞	B	蓮岡 美優	倉敷市立味野中学校 1 年	倉敷ローズ
優 秀 賞	C	柴崎 鈴香	東広島市立高美が丘中学校 1 年	東広島ウエスト
優 秀 賞	D	好中俊太郎	高水高等学校付属中学校 1 年	岩国桜

336複合地区選考会:2007年12月10日(月)

応募数・参加クラブ数

地 区	応募総数	参加クラブ数
A 地区	4,180 枚	115 クラブ
B 地区	14 枚	5 クラブ
C 地区	5 枚	3 クラブ
D 地区	44 枚	24 クラブ
計	4,243 枚	147 クラブ



入 船 美 月

松山湯築ライオンズクラブ



西 尾 菜 津 子

高知東ライオンズクラブ

336-A 地区
優秀賞

中 川 愛 梨

東予ライオンズクラブ



細 谷 朝 香

高知北ライオンズクラブ



森 岡 真 菜

徳島吉野川ライオンズクラブ



上 甲 幸 乃

伊方ライオンズクラブ



福 岡 知 世

徳島吉野川ライオンズクラブ



住 友 嵐

徳島西ライオンズクラブ



岸 本 優 衣

徳島ライオンズクラブ



片 岡 可 南 子

板野ライオンズクラブ

国際平和ポスターコンテスト
336-A地区から国際レベルへ

地区内115クラブから応募のあった国際平和ポスターコンテストは、2007年11月19日(月)に地区の審査会が執り行われ、最優秀賞に岸本浩一郎さん(スポンサー高知北LC)の作品が選ばれました。

また、すばらしい事に12月10日(月)に開かれた336複合地区審査会においても最優秀賞に選ばれ、国際レベルのコンテストに駒を進める事となりました。



DISTRICT 336-A
SHIKOKU

2007-2008
国際平和ポスターコンテスト

テーマ「世界中に平和を」

336 複合地区
最優秀賞

336-A 地区
最優秀賞



岸本 浩一郎

コメント：「全世界が平和で住みよくなったらいいな」と思って描きました。最優秀賞の受賞を聞いた時、正直に言って「なんで自分が？」と思ってびっくりしました。幼稚園の頃から絵が好きで描いていますが、嬉しい体験になりました。ありがとうございました。

スポンサー：高知北ライオンズクラブ



我がクラブのアクティビティ

1 Region

肢体不自由児療育キャンプ

1R・1Z 松山ホストライオンズクラブ
第二副会長 丸山俊明

今年度で第48回を迎えた肢体不自由児療育キャンプは松山市沖の興居島において興居島中学校をメイン会場として行いました。当初は2泊3日の予定ではありましたが、台風5号の四国上陸に伴い、急きよ2日間の予定にはなりませんが、キャンパー・ボランティアなど100名を超える参加者が集まりました。

みんなでの食事作り、海水浴、キャンプファイヤーなど盛りだくさんのプログラムの中でも夜店においてはライオンズが大活躍しており子ども達を楽しませていきます。

閉村式ではキャンパーからのお礼の言葉もあり、大成功のもと無事終了する事が出来ました。

これからも、このキャンプの目的である障害児の自立とボランティアの育成の効果を期待しつつ今後も継続してまいりたいと思います。



青少年育成事業

1R・3Z 松山金亀ライオンズクラブ

松山金亀ライオンズクラブは、日浦小学校、日浦中学校、五明小学校の生徒さんと、1997年から松山の水源である、青葉町の山林に「クスギの苗」を植樹しております。1999年からは、どんぐりを拾い各自の家庭で芽吹かせ、五明の畑に移植、大きくなってから青葉町に植樹をしております。五明の畑に移植のときは、五明地区の父兄、小学生、幼稚園の園児、小さな子供たちが草引き、穴掘りをして



環境標語の表彰式

今回、156のクラブにメールでアクティビティの投稿をお願いしたところたくさんの投稿を頂きました。本当にありがとうございました。

We Serve

1400〜1500本の「クス木」を植えます。先日、11月2日は五明小学校の生徒、父兄、地区の皆様と「マンダリン・パイレーツ」の選手、松山金亀ライオンズクラブの会員でポットに900本余りのクス木の苗を植え替え、その後小学生の環境標語の表彰をして皆様と楽しく紅葉真近い五明で楽しく過ごしました。



みんなでクス木苗をプランターに植え替え



食育劇を通して 食生活の大切さを学ぶ

1 R・3 Z 松山白鷺ライオンズクラブ

食生活の乱れにより、子どもたちの健康面や精神面への悪影響が社会問題となっています。

①早寝・早起き・朝ごはんの大切さ
②その食べ物はどう身体にいいの？
③これって何でできてるの？の内容で、「こどもまなび隊」が制作した食育劇を新玉小学校で保護者参観日に実施いたしました。全校児童・保護者・教職員約650名が参加し、食生活の大切さを学びました。参加した児童・保護者・教職員から多くの感想文が寄せられました。



松山白鷺ライオンズカップ Jr空手道選手権大会の実施

1 R・3 Z 松山白鷺ライオンズクラブ

青少年健全育成事業として愛媛県武道館主道場にて第3回を実施しました。「子どもの未来はまちの未来」知恵と勇気でウィサープをキャッチフレイズに各流派の垣根を越えて、全国（9県）より幼稚園から高校生まで選手233名、入場者総数800名で盛大に行われました。痛くても相手に立ち



向かって行く姿は逞しく、また礼儀を重んじる姿は立派で、感動の連続でした。

児童養護施設の子供たちに スケート教室

1 R・3 Z 松山白鷺ライオンズクラブ
保健福祉委員会 重松 秀男

11月17日土曜日の夕方から、新規事業として松山市内にある愛媛慈恵会（定員105名）施設の子供たちを招待して、スケート教室を開きスポーツでもあるスケートを体験してもらう為に企画しました。今回は46名の子供が参加してくれましたが、ほとんどが生まれて初めてスケートを経験する子供たちでした。私は、愛媛県スケート連盟の理事をしておりスピード選手を育てたこともありませんが、初心者の子供を教えた事ありません。そこで、毎日練習をしているホッケー・フィギュア部の学生たちに協力してもらい、スケート教室を行いました。がリンク内は子供たちの歓声が響き、終了の時間まで元気に遊んでくれました。怪我も無く無



事に終わり、子供たちの笑顔を見て、また企画してスケート教室をしたいと思えます。



児童福祉施設の子供たちを 観劇に招待

1R・2Z 松山西ライオンズクラブ

児童福祉施設 三愛園の児童を坊ちゃん劇場での「我輩は狸である」の観劇と、奥道後の昼食バイキングにご招待しました。参加者は施設側 児童18名・施設職員5名 西ライオンズクラブから14名でした。8月26日(日曜日)当日は天候にも恵まれ、チャーターバスにて施設にお迎えに行き10時30分から坊ちゃん劇場にて「我輩は狸である」を西ライオンズクラブメンバーと一緒に観劇、12時より移動し奥道後にてランチバイキングを堪能し交流を深め、施設に15時頃送り届け無事事業を終了いたしました。色々な事情で親元を離れ施設で生活する子供たちは、普段は施設と学校の往復で松山市内であってもよく知らない所が多く小旅行を楽しんでいる様子で初めてのミュージカルに喜んでいる姿を見て短い時間ではありましたが、我々メンバーも心が洗われる気持ちになりました。今後も継続事業として更に何が出来るか考え今後に繋いでいきたいと思います



外国人による「にほんで弁論大会」

1R・2Z 松山湯築ライオンズクラブ

ホールは笑いと感じ動につつまれ、初めての試みは終始和やかに終了。裏方に徹した会員達の顔はやつと続んだ。晴天の1月13日。松山市コミュニティセンターの特設会場では、弁論大会出場留学生7名が順次、壇上に上がった。滞在3ヶ月から10年と個人差はあるものの、来日前に日本語を習得した学生が多く、ユーモアを交えた流暢な話しぶりに、聴衆は驚いた様子で聞き入っていた。テーマは、「日本に来ての印象」「収穫したこと」などが中心であった。当クラブとして初めての取り組みに、不安やとまどいもあったが、学校側の温かい協力や関係者、クラブ会員の熱意で、「次回も、そして更に継続アクティビティーに」とのエールを各方面から頂戴し、楽しい各賞を手にした。出場留学生たちと固い握手を交わした。





2 Region

森と湖畔の公園清掃奉仕

2R・3Z 川之江ライオンズクラブ
宇高昭造

本年度のライオンズデー奉仕は例年と一味違う。森と湖畔の公園は「同伴野外バーベキュー例会」、「市民親子の集い」や「桜植樹」、さらには「40周年記念のブロンズ像建立」などを契機に我々のクラブにとって関わりの多い場所である。これまでも何度か清掃奉仕を行なってきた。我がクラブには器用な方が沢山いて、草刈などはドンドン片付くのに対して、得意な植木の剪定をやる私などはもうちょっとと後ろ髪を引かれる思いの内におしまになる。本年は石川福太郎会長のスローガン「汗して、楽しく、We Serve」のとおりにバッチリ時間をかけての清掃奉仕となった。

昼前にオートキャンプ場は一段落となり、贈呈したブロンズ像のある中央公園に移動した。こちらの方は管理人の方々によってかなり綺麗であったので少しの作業の後、昼食となった。中央公園の芝生にお弁当を広げて賑やかに世間話をしながら楽しいひと時であった。よい日和のお天道様の下でのお弁当が私は好きである。何でも美味しい。ひと汗かいた後でなおさらであった。「汗」あり、「楽しい会話」ありで会長スローガンそのものの奉仕デーとなった。



献血およびチャリティーバザー活動

2R・3Z 伊予三島法皇ライオンズクラブ
社会福祉委員長 福田保

伊予三島法皇ライオンズクラブ（森井基司会長）は平成19年11月17日・18日の両日、第3回四国中央市産業祭において献血活動とチャリティーバザーに参加しました。紙の町らしく高さ5mのゴジラのティッシュタワー展示や少年スポーツ大会、もち投げ、各種紙製品、地元特産品の展示及び即売会などが催され、大変な賑わいとなりました。当日は風が強く、献血者用に用意したあま酒の大鍋が倒れるハプニングもありましたが、多数の参加があり、218名の献血受付で178名の400ml採血が出来ました。バザーにも約12万円の収益があり、CSFⅡキャンペーンなどに寄付させて頂きました。



ライオンズクラブ国際平和ポスター・コンテスト応募作品によるカレンダー作成

2R・2Z 今治ライオンズクラブ

今年度のメインアクティビティとして、「世界中に平和を」をテーマに行なわれたライオンズクラブ国際平和ポスター・コンテストの応募作品によるカレンダーを作成いたしました。

このカレンダーは青少年健全育成と、平和とは何かをカレンダーを通じて日々感じていただくたく作成する運びとなりました。

カレンダー完成後、参加のお礼とカレンダー完成の報告をするため、各学校へ伺いました。

どの小学校の校長先生も大変喜んでいただき、いろんな子どもの話を聞かせていただきました。そんな子どもの中に、普段は先生の言うことをあまり聞かず、教室の床を壊すような子どもがおりましたが、このコンテストへ参加することを決めてからはポスター作成に一生懸命になり、世界の国の旗がわからないと図書館へ行き、「先生、国旗が見つかった。」と、うれしそうに朝一番で小学校へ登校しては、ポスターを描いていたそうです。

それからは態度も変わって先生の言うこともきちんと聞くようになったと校長先生から非常に感謝されました。しかもその子どものポスターが優秀12作品に選ばれたことを伝えると「勉強や他の事では絶対にいただけない賞をいただけて大変ありがとございます。

子ども大変喜ぶと思います。」と言っ
ていただきました。

1月10日(木)、我がクラブの新年家族
例会において、12名の優秀賞受賞者の
子どもを招き表彰式を行いました。



瀬戸内しまなみ海道 スリデーマーチ

2R・2Z 今治くるしまライオンズクラブ

去年平成19年9月28日～30日の3日
間にて、第7回・瀬戸内しまなみ海道
スリデーマーチが開催されました(私
たち今治くるしまライオンズクラブは、
第1回大会から受付・接待・コース案
内など全面的にバックアップをしてい
ます)。本コースが日本マーチングリ
グ連盟に公式認定された今回の登録人
数は6400人を超え、前回の大会よ
り4割増となりました。これも全コー
スの整備のよさや各コースの景観の素
晴らしさが認められた結果だと思いま
す。

3日間を通して、長い道のりを歩い
て疲れているにもかかわらずコース案
内役の私たちにも笑顔で温かい言葉を
かけていただきとても感動しました。
次回の大会も皆さんに「歩いてよかつ
た」「楽しかった」と思ってもらえる
よう頑張り

たいと思
います。是非
皆さんも家
族、友人を
誘って参加
してみてください。
楽しいけ
ど、楽しい
よ!



青少年育成事業の成果

2R・3Z 川之江中央ライオンズクラブ

新年度に入るとすぐに四国中央市が
主催する紙祭りの準備に取り掛りまし
た。多くの会員の寄附と参加でバザー
をしました。この収益は、社会福祉協
議会の主催の福祉祭りのフリーマー
ケットと共にCSFⅡの募金の一部と
なりました。

秋の入口には青少年育成の一助のた
めの第1弾としての中学生のサッカー
大会を開催しました。市内(旧川之江市)
の2校と四国4県各1校の6校でトー
ナメント方式の大会で一年中で最も良
い時候と相まって、のびのびと若い力
の伸び行くものを感じざるを得ません
でした。そして年末近くには第2弾と
し小学生の柔道大会を開き、四国各県
から多数の柔道大会のグループの児童が
参加しました。今年はアリーナの4コー



ナーで進行しましたが、2階の観覧席
も一杯で大きい大会の相を呈していた
ように思いました。この中には全国大
会の学年別での優勝経験者が2人も参
加していてレベルの高い大会であった
と思えました。

負けて誰にもはばかりことなく悔し
涙を流し、または泣きながら大きい者
に立ち向かって行く姿には、久方振
りに闘魂をみたとおもいがし清々しい気持
ちになりました。

次に春になると第3弾として川之江
高校生の演劇の支援が予定されていま
す。又、献血奉仕も年3回おこなわれ
ています。

どの事業も少しずつ変化しながら続
けております。



小学生による川之江中央ライオンズ
旗争奪四国少年柔道大会



CSFⅡ事業資金獲得
バザー



中学生によるライオンズカップサッカー大会



盲導犬贈呈

2R・1Z 新居浜ライオンズクラブ

新居浜ライオンズクラブ全会員による善意の積立金により、2007年9月26日に新居浜在住の視覚障害1級の女性に盲導犬を贈呈させて頂き大変喜ばれました。

また、各商店やレストラン等に盲導犬同伴可のステッカー等も配布しました。この事業が達成出来たのは、一代目盲導犬導入の際、色々お世話させて頂いた時に資金の必要性を痛感し、歴代会長並びに会員各位が長年に亘り善意の積立金をして頂いた事や、その資金の拠出に際し快く賛同して頂いた事と、関係機関の御力添えの賜物と深く感謝申し上げます。

今期のスローガン「たとえ小さな奉仕でも「一滴の水から大海に」の様に、こつこつと続けてきた奉仕も、積み重ねていけば、やがては今回のような大きな成果になります。これからも、1人でも多くの方に幸せに成って頂く為に、頑張ります。



「子どもたちの心をつなぐ」 わくわく実験教室」開催 楽しめば理科応用力も向上

2R・2Z 今治中央ライオンズクラブ

子どもたちの理科向上力と環境問題への関心を高める為、また交流によって互いの友情を育むために、11月17日、愛媛大学教育学部准教授渡邊重義先生と常盤小学校村上圭司先生（平成16年度えひめ授業の達人）を講師に、今治市と上島町の小学校35校から6年生62名を招き、地場産センターで「わくわく実験教室」を開催しました。

渡邊准教授のテーマは「光と虹の不思議」で、いろいろな光の色彩を変えたり反射させたりして変化を経験させ、虹について皆で考え、回析格子と紙コップで光の万華鏡を作り、光の無限の変化を観察しました。この実験を基に光と私たちの暮らしの関係を考えさせる実験でした。

村上先生は「磁力おもしろ実験」をテーマに、電池を使わずにLEDを光らせる実験から始まり、炭電池を作り（村上先生が夏休みに実験した様子がNHK教育TVで放映された）、最後はクリップのモーターまで作らせ、子どもたちを興奮させました。生活に必要なエネルギーがどうして生み出されるか、なぜ電気を使うと二酸化炭素が増え、地球が温暖化するのかを考えさせました。はじめて出会った子どもたちは、実験が終わる頃にはすっかり友達になりました。充実感あふれる一日になったようです。



3 Region

福祉施設招待みかん狩り

3R・3Z 宇和島ライオンズクラブ
会長 水野 日出夫

平成19年11月7日、宇和島クラブ（水野日出夫会長）は恒例事業である福祉施設（3施設）の皆さんを招いてのみかん狩りを行いました。招待者は約90名、総勢104名で快晴のもと、楽しいひと時を過ごしました。このアクティビティは継続事業で、招待した人たちもクラブメンバーとは顔見知りで、「今年も会いましたね」と気軽にあいさつを交わす仲間になっています。

また、トイレが会場と離れていて招待者の皆さんに不自由をかけて、長年課題だった問題も、今年度は仮設トイレを設置することで解決。若手メンバーの発案でした。招待者の方たちと来年の再会を約束して、事業は事故もなく盛況のうちに終了することができました。



社会福祉施設への心の使節団報告

3R・2Z 八幡浜みなとライオンズクラブ

1995年から毎年行っているこの事業も今年で14回目を迎えました。

この施設は家庭内の諸事情により親御さんと一緒に生活できない方々の為の支援施設で現在幼稚園生から高校生までの39名の皆さんが生活されています。

クラブでは施設の生活に役立つ物品を毎年園長さんにご相談してお送りしています。

昨年度は全自動洗濯機をお送りしましたが今年度は幼少期の皆さんへ【布団乾燥機】【三輪車】中学生の方に26インチの自転車という内容で贈呈式を行いました。

園長先生のお話によれば今年施設を巣立つ三名の高校三年生もすでに進路が決まり、中学三年生四名の皆さんも高校受験に向かって夜遅くまで頑張っているとの事でした。

恵まれな

環境に在って、辛い環境をものともせず一生懸命に頑張っている皆さんと出会い深く心を打たれた一日でした。



奉仕の絆、力合わせて、ウィーサープ

3R・2Z 伊方ライオンズクラブ

私達伊方ライオンズクラブでは、会長スローガン「奉仕の絆、力合わせて、ウィーサープ」を言葉に、活発に奉仕活動に取組んでおり、今年は結成30年を迎えることから2008年6月1日に盛大に30周年記念大会を開催する予定です。

当クラブでは結成当初より30年間、毎年7月に地域の小中学生から老人会まで、約35団体のご協力により700名程の町民の参加を得て、大川沿い、公園や地区の清掃奉仕を継続しております。

また国道197号線から町役場へ向かう3差路に立ててあるライオンズクラブの道路標識周囲の花壇には毎年違う種類のバラを植えており、道行く人達を和ませている事でしよう。これからも我が町の環境保全と美化のため奉仕活動を続けて参ります。



ミス・カミラとの三十八日間

3R・1Z 内子ライオンズクラブ
古田 條舒

今回、YE夏期派遣生をホストファミリーとして受け入れる事になった。ノルウェーの女子高生ミス・カミラ。

ノルウェー国と書かれた身上書を見て、何だか親近感を抱いた。というのは、二年前家内と北欧旅行をした折、十二日間のうち五日間と一番長く滞在した国であり、又フィヨルドや氷河等、壮大な景観が印象深く残っている。

七月十一日、岡山駅にて出迎え受取り、内子へ連れ帰る。カミラは北欧美人と言おうか、髪はブロンド、色白で可愛らしい。本人はノルウェー人としては小柄ですと言っていたが、それでも164cm。来日一週間ほど経って内子L.C.の歓迎会。この頃には日本の生活にも慣れ、皆にビールをツイで廻ったり積極的の人に溶け込んでいた。日常生活ではサシミ以外何でもよく食べ、孫達とトンボや蟬とりが日課。

戸惑ったのは庭の芝生へゴザを敷き、炎天下裸になり肌を焼くのだといって日光浴をする習慣。来客の方、宅急便の配達の方等々、奇異の目で眺めたり足早に通り返したりと、ちよっとしたハプニング。

本人の希望もあり、広島・宮島方面へ一泊二日の小旅行。広島市の平和公園、原爆資料館等に関心があり、悲惨な写真を見て「アウシュビッツよりひどいですね」と言っていた。

私もホストファミリーとして六人目の



受け入れ。その都度楽しく、これぞ草の根レベルの国際親善と自負してやらせてもらっている。だが今回は三十八日間、少々長すぎ。今後受け入れられる方のためにも、御一考願いたい。

ジュニアトリアスロン大洲大会

3R・1Z 大洲ライオンズクラブ

大洲の夏の風物詩「ジュニアトリアスロン大洲大会」は、一級河川「肱川」を舞台に、子供達が過酷な鉄人レースに挑戦する、子供だけのトリアスロン大会です。

大洲ライオンズクラブには、クラブメンバーの中に鉄人トリアスロン競技に参加したメンバーがいます。

このメンバーを中心に「大洲で子供だけのトリアスロン大会を計画できないか。」との提案がなされ、その主旨に賛同した当クラブが中心となり、クラブ会長名で企画書をつくり大洲市当局へ陳情いたしました。

翌年の平成7年、大洲市教育委員会の主催で第一回のジュニアトリアスロン大洲大会が肱川河川敷で大洲市内外の約140名の参加を得て開催されました。大洲ライオンズクラブのメンバーは組織づくり、資金集めから会場の設営、大会運営まで、大洲市、他団体と一緒に子供達の頑張りに負けないように頑張ります。



姉妹クラブ締結式典・祝賀会

3R・2Z 八幡浜ライオンズクラブ&京都やわたライオンズクラブ

世界で始めて飛行原理の実験に成功した航空界の先駆者、二宮忠八翁の生誕地である、愛媛県八幡浜市の我がクラブ八幡浜LCと、永眠の地である京都府

八幡市の京都やわたLCの姉妹クラブ締結式が平成19年9月22日(土)、京都オークラホテルで行われました。

式典には、3351C地区ガバナー・須藤眞志、3361A地区前ガバナー・地区名誉顧問会議長・西園寺純一立会いのもと、3351C地区キャピネット役員はじめ地区役員・委員の皆様に来賓して頂き、京都府下のライオンズクラブから30名以上の会長・幹事の出席がありました。八幡浜LCからは、4名の会長経験者をはじめ総勢17名で参加いたしました。

今回の締結で、ライオンズ活動の情報共有や人的交流を通じ、互いに刺激し質の高いアクティビティへの取り組みと両クラブの発展を誓いました。



盲導犬育成チャリティー

「第7回歌謡フェスティバル」開催

3R・3Z 宇和島中央ライオンズクラブ

平成19年12月9日、当クラブと花岡歌謡教室主催の『盲導犬育成チャリティー・歌謡フェスティバル』を開催いたしました。盲導犬チャリティーとしての開催は5回目となります。メンバーは前日、約1時間会場の設営等行い、当日は午前9時より準備を整え、ご来場の皆様をお迎えいたしました。(来場者数約900名)宇和島市長・当クラブ会長の挨拶後、開演。48名の歌声が披露されました。また、休憩時間には、メンバーが募金箱を携えて観客席をまわり、募金活動を行いました。クラブ員の自主的な活動により、当初予定しておりました額をクリアいたしました。皆様の好意に深く感謝申し上げます。この募金は、後日(12月27日)宇和島市長室にて、市関係者・各報道機関列席のもと贈呈式が行われました。



4 Region

外国人(家族との)親睦交流会開催

4R・3Z 三木さぬきライオンズクラブ
LCIF 国際協調委員会委員長 白井秀樹

三木さぬきLCでは、毎年、香川大学留学生(家族)との親睦交流会を実施しており、今年も11月25日、11ヶ国の留学生等が大勢参加していただき盛大に交流会を実施しました。午前中は各自日本語で自己紹介していただきクラブ会員等と活発な意見交換をしました。夫婦が3組いましたが、意外にも全組お見合いで結ばれたとのことでした。

午後からは日本語伝達ゲームや果物のプレゼントゲームをしました。前者では人から人へ言葉を伝えていく内に全く違った言葉になり、一同大爆笑となりました。後者では阿弥陀形式の綱を引いて好みの果物を取ろうとしましたが思うようにはいかず、それでも沢山果物を手に入れて大喜びでした。

家族と別れ、異国で勉強や研修に励む彼らにとって、楽しい一時を持てたことは日頃のストレス解消に少しでも役だったものと思っています。



アジアの国々に井戸を

4R・2Z 高松中央ライオンズクラブ
会長 稲尾恵美子

高松中央ライオンズクラブでは、2ヶ月に1回の献血推進アクティビティと、年3回の中央公園の花植え、クリスマス時には県立中央病院小児科病棟へベビーカーや車椅子を寄贈、そして子供たちにはプレゼントを用意して訪問しています。その他池間哲郎氏ひきいる「アジアチャイルドサポート」を通じて、アジアのミャンマーに井戸2基を寄贈させて頂きました。

井戸1基掘るのに35万円かかりますが、約2,000人の人達の命が助かります。また井戸は現金収入がほとんどない現地の人達の手で掘られ、まさに一石二鳥です。そうして掘られた井戸は昨年12月に完成し、「高松中央ライオンズ



クラブ「愛の泉」と名づけられました。日本では考えられない劣悪な環境の中、多くの子供たちが大きくなるまで生きられないアジアの国々に、出来れば毎年井戸を提供していきたいと考えております。



次世代の灯火になりWe Serve

4R・3Z 高松グリーンライオンズクラブ
会長 久保 靖英

我が高松グリーンLCは、高松の東南に位置する結成4年という歴史の浅いクラブです。

今期の私たちの活動は、高松の南方阿讃の峰の小さな盆地、菅沢町のミニ八十八ヶ所霊場で地元のボランティアの人達と参道の修復、薬師堂周辺の整備や東植田町公園で開催される菊花展などの協力、地元で開催される各種のスポーツ大会の後援、日本赤十字社からの要請に応じた献血活動等しております。

今期私の掲げるテーマ「次世代の灯火になりWe Serve」に則り、江戸末期(慶応二年頃)より薬師如来が祀られることにより始まった、ミニ八十八ヶ所を後世に残すお手伝いが出来たこと、また少子高齢化が進む現在、地域に住む人達を物心両面からサポートしていけること。有形・無形の財産を残す事に聞かれる経験ができる、この活動を誇りに思っております。

会長としての要職も、後半期となりましたが、地域とともに我が高松グリーンLCも発展していきたいと思っています。





ふれ愛ボウリング

4R・4Z 高松紫雲ライオンズクラブ
教育市民社会福祉委員会 委員長 中村 順一

11月4日大洋ボウルにて「第2回紫雲ふれ愛ボウリング大会」を開催しました。ふれ愛ボウリング大会の名称では第2回ですが、「脳性マヒ親と子のボウリング大会」を含め、今回で実に29回を数える紫雲ライオンズクラブのメインアクティビティのひとつです。

会場はボウリング大会を大洋ボウルで開催し、アトラクションを隣接する高松市総合福祉会館で行いました。

我々メンバーは朝の8時30分に集合し、大洋ボウルとアトラクション会場に分かれ、10時に開会の準備作業をしました。

平木紫雲ライオンズクラブ会長と片岡肢体不自由児会長の挨拶の後、10時にプレーを開始しました。

各レーンからは思い通りのところにボールが行くと歓声が沸き起こり、とても和やかな雰囲気でした。

午後からは会場を高松市総合福祉会館に移しアトラクションを開催しました。

アトラクションは肢体不自由児とメンバー等による風船バレーボール、特別参加のマジック同好会によるマジックショー、ビンゴゲームでした。

それぞれのアトラクションとも大好評であり、非常に楽しい一日を過ごすことができました。

そして後日、肢体不自由児会と今回参加者の方からお礼の手紙をいただき、

我々メンバーもたいへん心温まる思いが致しました。



祝日に「日の丸」掲揚!!

4R・3Z 東かがわライオンズクラブ
幹事 田中 勝弘

美しい風習を育てつつ、よりよき社会より豊かな生活を築き上げるために、国民こそ祝日、感謝し、記念する日を定めるとして「国民の祝日」がある。

その祝日に各公共機関また各家々が日の丸を掲げてお祝いをする習慣を復活定着させる事が、我がクラブの今年の大きな目標である。外国に比べ日本の若者には日の丸・君が代に敬意がやや少ない。

小学校学習指導要領にははっきりと「我が国の国旗と国歌の意義を理解させ、これを尊重する態度を育てるとともに、諸外国の国旗と国歌も同様に尊重すること」とある。国際交流の基本的な考え方であるし、ライオンズクラブが組織む日本人のための大切な事業であると考えている。



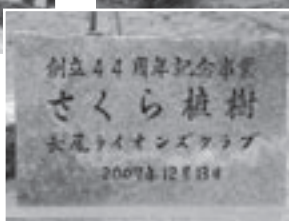
枝垂れ桜植樹

4R・3Z 長尾ライオンズクラブ
環境保全・保健福祉委員会 委員長 渡辺 聡

2007年度のライオンズ(奉仕)デーとして、12月13日(木)、さぬき市ファクトリーパーク地内ミニ公園に枝垂れ桜15本を植樹しました。

当日は、あいにく小雨が降る悪天候となりましたが、参加者は全員雨にぬれながらも、土掘り、植え付け、水かけ等の全作業を午前9時より約2時間かけて完了いたしました。

来春には、この桜を象徴するような、素朴で謙虚な姿に美しい花を咲かせてくれるものと期待しています。



5 Region

「観音寺市子ども議会」を開催

5R・2Z 観音寺中央ライオンズクラブ

幹事 大西 唯夫

観音寺中央ライオンズクラブ（西山清洋会長・三十二人）は、八月四日観音寺市と教育委員会の協力を得て、「観音寺市子ども議会」を開催した。

この事業は、児童が地域社会に関心を持ち、様々な課題を自分で考え、対話を通して積極的に意思表示できる機会を提供することにより、社会に貢献できる力を身に付けてほしいとの趣旨でおこなわれた。

当日、市内の小学校十三校から児童が各一名ないし二名が参加し、子ども議員として質問に立ち、答弁には市長、副市長、教育長があたった。市議会の議事堂を使用して頂き、一人一問一答の形式で、本日の議会さながらに緊張感のある雰囲気で行われた。

「私があがく観音寺市——私が市長であればこんな市にしたい」というテーマで提案型の質問してもらったが、子どもの視線でしか気が付かないようなものから大人顔負けのものまで、広範囲に及んだ。それに対して、市長と教育長が丁寧でわかりやすい受け答えをしてくれ、予想以上の内容の濃い実りあるものとなった。また、子ども達の背筋を伸ばし、はっきりした声で堂々と質問する態度には大きな感銘を受けた傍聴席は座りきれないほどの人で一杯になり、関心の高さをうかがわせた

が、この議事の模様は地元のケーブルテレビで二時間余りにわたり放映されたため、大きな反響を呼んだ。

この事業以外にも当クラブは、老人保健施設への慰問、有明浜の名勝「寛永通宝」の砂ざらえ、幼稚園児との芋ほり等、地域の人々とのふれあいを大切にした奉仕活動に取り組んでいる。



市民ふれあいフェスティバル

5R・2Z 善通寺ライオンズクラブ

幹事 小野 貴史

毎年2月の寒い時期に一般市民の方々とふれあいライオンズのPRを目的として、毎年市民会館にて行っています。事業内容は献血、メンバーから集めた厚生バザー、うどん・焼き鳥・コーヒール等の販売、子ども達の為の雪の滑り台、平和ポスター優秀賞の掲示、市教委との共同で、日本の名作映画の上映と盛りだくさんの内容になっています。



ます。なかでも雪の滑り台は、雪を毎年長野県より大型トラック2台で運んでおり、小学生以下の子ども達が毎年楽しみにしている人気のイベントになっています。また我クラブもメンバー数の減少するなか、昨年より市内の中学生（約20人）にボランティアで運営を手伝ってもらっています。このことは中学生にライオンズの活動を理解してもらう事、奉仕することの喜びを知ってもらう事、なにより手伝ってもらうことで各イベントがスムーズに運ぶ事など、一石二鳥以上の効果があり、我クラブのメインイベントになっています。

親子で楽しい例会

6R・1Z 高知桜ライオンズクラブ

山添 真理

『今日ライオンズの会？理子も行く』と、3歳の娘がにこにこ顔で嬉しそうに言ってきます。0歳からベビーカーに乗って例会に参加している娘、今ではすっかりチビライオンです。

IT委員の私と一緒に玩具のカメラで得意げに撮影して楽しんだり、会員さんとおしゃべりに夢中になったり…。ときどきは私に『しずかに』と怒られたりしますが、桜LCの皆さんからは『理子ちゃんはおんとにおりこさん、理子ちゃんいないと会が寂しいよ』と言って頂きます。

ビジターで来てくださった方に『子供のいる例会もいいですねえ』と言って頂いたときは、正直ほっとしました。わがクラブは女性だけということもあって、とにかく和やかで楽しい例会を心がけています。最近では、出産された会員さんが赤ちゃんを連れ来たり、また、お孫さんと一緒に参加される会員さんもいます。わが娘もお友達と一緒にだど少し騒いだりしますが、帰りには『今日はお友達といっしょで、よかったね』と声をかけていただきます。こんな和やかな例会だから、毎回親子で参加して『今日も楽しかったねえ』と話しながら帰ります。そんな娘もこの春には幼稚園児になります。残念ながら例会には親子参加



「高知ライオンズスポーツ賞」

6R・1Z 高知ライオンズクラブ
会長 安藤 裕治



できなくなってしまうですが、今度はアクティビティ参加です。ますますチビライオンを発揮してくれそうな予感が…。

平成19年12月4日に高知ライオンズクラブ例会において、第37回高知ライオンズスポーツ賞表彰式を執り行いました。この賞は高知県内の中学生を対象として、その年度の四国大会並びに全国大会の各種競技において優秀な成績を残された団体と個人の荣誉をたたえ表彰するものです。

今年15団体、17個人と引率者の方々をお招きして表彰し、ライオンズクラブメンバーと共に昼食会を楽しんでいただきました。

高知県の将来を担う澁刺とした若者達がこの賞を励みとして、長い人生においていつの日か立ちふさがれる壁や荒波を乗り越える、鍛えられた身体と精

シンボルロードを芝桜の名所に

6R・2Z 須崎ライオンズクラブ



神を培い成長されることを願っております。また、学校の先生方や監督さん、コーチの方々そして応援されるご家族や地域の方々のご協力を得て、この賞が広く知れわたり高知県のスポーツ発展に寄与できれば幸いです。

須崎の市街地を東西に走るシンボルロードは、市内の各種団体が加入する「美化委員会」(ライオンズクラブも構成団体)や市民有志による清掃や除草活動、花木の植え替え等で整備され市民の散策、憩いの場となっている。

昨春秋、このシンボルロードに芝桜を植えて花街道を作ろうとの計画が持ちあがり「美化委員会」を中心に多くの市民の協力を得て作業が進められた。LCも市川会長はじめ会員が参加協力した。この間、作業奉仕、パーク堆肥の寄贈、建設機器の提供等があり芝桜

ミニバスケットボール 高知北ライオンズ杯

6R・1Z 高知北ライオンズクラブ



の植付が完了。一本一本心をこめて植えられた苗は、今年暖かくなる頃から花を咲かせ芝桜の名所が生れるだろうと期待されている。

本年度も平成19年10月13、14日に香南市県立青少年センター体育館において「第4回高知北ライオンズ杯ミニバスケットボール大会」が開催された。この大会は平成16年度より始まり本年度で4回目です。ミニバスケットとは

小学生を中心に各地域でチームを作られたものでリングの高さは一般のものより低く、コートの大きさも一回りほど狭くなっており、その他一部特別ルールによって行われている。本大会は例年県外(四国内)から男女各3チームを招請し、県内男女各6チームの併せて18チームで開催されている。県内チームは夏季大会での上位ベスト4に、選抜選手で構成された高知選抜Aチーム

と、普及強化選抜選手で構成された高知選抜Bチームを加えた6チームが参加している。高知県は四国4件の中では残念ながらレベルが低い状態で県外チームと対戦できるこの大会はレベル向上に大きく寄与しているのか。ミニバスケットボールチームは県下に男女合わせて42チームが活動しており、高知県バスケットボール協会、ミニ部を通じて日本バスケットボール協会にチーム登録及び選手登録を行う必要がある、この登録により高知県内の公式大会(春、夏、冬季)や四国大会、全国大会さらに高知北ライオンズ杯に参加することが出来るそうです。

今大会はリーグ戦で行われ、男子は高知竹島クラブが女子は香川多度津バスケットボールスポーツ少年団がそれぞれ優勝となった。

- ①男子の部成績
- 優勝 竹島クラブ(高知県)
 - 準優勝 高知選抜A(エンタープライズ)
 - 第三位 高知クラブ(高知県)
- ②女子の部成績
- 優勝 多度津バスケットボールスポーツ少年団(香川県)
 - 準優勝 松前スポーツ少年団(愛媛県)
 - 第二位 千松ミニバスケットボールクラブ(徳島県)



7 Region

献血告知板を設置

7R・3Z 土佐山田ライオンズクラブ
PR／情報・会報委員 竹本 光男

高知県では献血人口の減少・高齢化で輸血用血液の不足が慢性化している。日赤や自治体もなんとか増加をと、努力をされている。私たちも採血時の手伝いや、「おみやげ」などで気を引いているが、根本は「物」ではなく、献血人口の若返りと回数の増加を図ることだと思う。今、奉仕の意思を持つ若者は少なくは無い、教育界もその意思を大きく育て、社会に貢献できる喜びを持った若者を送り出してほしい。大学生たちは日赤との連携で「クロスクラブ」という組織で活動している。

我がクラブでは底辺の拡大・回数の増加を願って、人手や時間、説いて回る足も不要な告知板を設置した。目的は「いつ・どこで」という献血に関する情報を常に提示して、献血者の増加を図ろうというもの。経費は、ボードと月日・場所の差し替えパネルで50,000円程度。場所によっては足場の工事が必要だ。

第1号は（18年6月）市役所北の国道交差点脇のフェンスへ取り付けた。山田高校の生徒の通学路だ。地主の農協さんの好意で使用料は無料。パネルの差し替えは市の健康づくり課に責任を持つってもらうことにした。第2号は（19年1月）香北町アンパンマンミュージアム前・東側の信号機。信号待ちの

間に見ていただけるようにと。日赤もこの方法に興味を示していると聞く。

この告知板の効果がどれだけかはまだ確認していないが「前を通るときはいつも気にしている」という声も聞く。香美市の献血者は18年度が1,185名、19年度（11月末現在）1,124名。着実に増加している。工科大での献血は、18年度375名から19年度571名と若者の献血は増加している。しかもその半数が献血初めてという学生だ。若者の力は大きいのです。

高校生が加わってくれば…これは献血に携わる者の共通の願いだと思う。（献血者数は200cc換算）



地域花いっぱい8030事業

7R・1Z 高知鏡川ライオンズクラブ

今、学校に通う子どもたちが危険にさらされています。また、何の罪のない子どもたちが犯罪に巻き込まれる事件が相次いで起こっています。

そこで、子どもたちが地域で安全で健やかに育つ環境づくりを推進するため、高知市内の6つのライオンズクラブ（高知黒潮LC、高知桂LC、高知柏LC、高知よさこいLC、高知とさみずきLC、高知鏡川LC）と高知県教育委員会生涯学習課が連携して、「地域花いっぱい8030事業」を立ち上げました。

この事業は、プランターに移植した花の苗を子どもたちの登校・下校の通り道に位置する地域の方に配布し、午前8時の登校時と午後3時の下校時（8030）に水やりや花の手入れを行っていただきます。そして、子どもたちの登校時には「おはよう」、下校時には「おかえり」などの声かけも同時に行っていただきます。

声かけをすることによって、地域の方と子どもたちが触れ合うきっかけ作りをさせていただき、防犯や非行防止にも役立つことを期待しています。「子どもたちの安全を地域の大人が見守りましょう」というのが趣旨です。

初日の高知市立初月小学校での贈呈の様子がテレビ高知にて、お昼と夕方2回、トップニュースで放映されました。ユニークな取り組みということで、かなりの反響があったようです。

テレビ放送の中でも、アナウンサーの方が「地域が今後どのように変わっていくのか楽しみですね」と言っていました。

この事業は、今年始めての試みのため、今年度は、高知市内の20校の小学校ですが、来年度は、高知県下すべての小学校に広げていきたいと思っています。

ぜひとも、次代を担う子どもたちが地域で、安全で健やかに育つ環境づくりを推進するために、高知県下のライオンズクラブにご協力を要請したいと思っています。



YE生 マレーシアよりウエイさんを迎えて

7R・1Z 高知南ライオンズクラブ

上島 千恵子

夏の国から来訪する女の子を心して待っていると、電車から元気よく「こんにちは、ウエイです。よろしくお願います。」と、流暢な日本語の挨拶で



初対面を土佐山田駅で迎えた。
日本の女の子と変わらない風貌でマレーシア系、中国系、東南アジアの出身だなど思いました。我が社の賃貸マンションの1室が丁度空いていたので、その部屋を使ってもらう事にしました。彼女はマレーシアでは第2人とも騒々しいので、個室をとて入っていました。12月31日除夜の鐘を正連寺の山の上に撞きに行った時、大雪になり夜空を舞う雪の中でダンスをしていた。
スキーキャンプは余り雪が無く、スノーボードをして楽しく過ごしたと報告がありました。ショッピングが大好きで日本の方が衣類は安いと言って帰りのバッグは3個になってしまった。
岡山駅での別れはお互いに涙を流さないで、再会を約束し明るく彼女は母国に帰国しました。



2007年12月1日出毎日新聞

と目録を来賓の岡崎市長に手渡した。岡崎市長は鏡川上流にはサンショウウオも生息していることを紹介し、「環境保全や源流の地域を護る寄付はありがたい」

高知市水源の森「工石山整備事業」に基金を贈る

7R・1Z 高知よさこいライオンズクラブ
幹事 東条 節子

高知よさこいライオンズクラブ（堀和男会長／40名）は11月29日、鏡川上流の工石山整備事業として、工石山レクリエーションの森管理運営協議会に30万円を贈った。

この日は、市内のホテル城西館にて、220名を招待して、クラブ主催のチャリティーオークションを開催し、その収益金などを寄付に充てた。

贈呈式で、堀会長は「水は私たちの命の水を育む森も命だ。河川の清流は市民の宝。鏡川上流の工石山整備事業を支

とお礼の言葉を頂いた。

工石山は自然公園にも指定され、サンショウウオが生息する地域であるが、近年登山客や、ハイカーによってサンショウウオの産卵、孵化する場所が荒らされるため、登山道（遊歩道）をその場所から迂回させ、保護するように付け替え工事の支援金として、高知市に寄付した。

今後も案内板など、整備に継続的に支援を続けていきたい。



サンショウウオ

高知県立盲学校交流会(ボウリング大会)

7R・2Z 高知黒潮ライオンズクラブ
幹事 合田 豪男

12月19日、高知黒潮LCは、高知県立盲学校の生徒達とボウリング大会を開いた。

中学生から成年までの十数名を、先生と一緒に学校の正門からボウリング場への往復（片道約30分）を誘導しながら歩いた。道路の側溝や信号交差点に注意を払いながらの行進である。途



中、体の不自由な生徒の乗った車椅子を押してみた。ガタガタ揺れる。ひび割れた路面にハンドルが取られる。小石に乗り上げると車椅子ごとひっくり返りそうになる。なんと運転の難しいことか。なんと不整備な歩道なのか。

生徒に「乱暴な運転ですみません。」と謝ると、「いいえこちらこそごめんなさい。」「ボウリングはいかがでしたか?」「はい、目は不自由だけどボールの転がる音やピンの弾ける音がとても気持ち良かったです。今日は本当に有り難うございました。」

道中、会員と生徒達の会話が続く……。この子達に一筋の光を当ててやることはどんなことだろうか。今回の目的はボウリング大会だけではなかったような気がしてならない。

8 Region

第九回健康ウォーク さわやかな秋晴れに恵まれ 一二〇〇人が参加!!

8R・3Z 徳島東ライオンズクラブ

徳島東LCの最大奉仕活動である「第九回健康ウォーク」が十一月三日、蔵本公園から山頂の眉山公園までのコースで開かれ、家族連れら一二〇〇人が参加しました。

当日は、さわやかな秋晴れの下、ラジオ体操で体をほぐして蔵本公園を出発、紅葉はじめた木々を楽しみながら、山頂へと五キロの山道を全員が完歩しました。

山頂では、全員に「名物きつねうどん」とお茶が振舞われたほか、アマチュアバンドによる軽快な演奏を楽しんでもらいました。

ラッキーカードによる抽選会もあり、参加者から『天気が良い、景色も美しく、歩くのが楽しかった。来年も参加したい。』と、とても喜んでいただきました。お陰さまで素晴らしいアクトができたと思います。



日本福祉文化学会に参加

8R・2Z 徳島吉野川ライオンズクラブ

会長 大木 賢人

徳島吉野川ライオンズクラブは平成19年12月9日(日)、徳島県名西郡石井町で開催された日本福祉文化学会に参加しました。

今回の大会のテーマは「つながり」

第一部会は「福祉と司法と地域連携」

第二部会は「地域で暮らす就労と自立」

第三部会は「地域医療」

というテーマでシンポジウムや講演が行われている中、私たちは第四部会『本人部会』と呼ばれる実際に障害を持った方々と地域の人達や地元小学校の生徒たちとの交流をはかるお手伝いをさせて頂きました。

朝11時〜午後4時半まで石井小学校体育館ではダンスやコーラス、朗読、マンドリンやギターの演奏に加えて、四宮賀代先生による阿波踊り教室と石井小学校児童と障害者による阿波踊り、スピリチュアルズによるゴスペルコンサートのお世話をさせて頂きました。

一方、模擬店では地元ボランティアの出店に混じって、おせんざいの無料提供をしながら障害者の方々や、付き添いのボランティアの方々の美味しそうな笑顔を見せてもらい会員共々ずいぶん元気をもらいました。

福祉とは「人が豊かに生活する」とことであり人が豊かに暮らすためには、人と人とのつながりがなくてはなりません。人のつながりが地域社会を創り

出します。

今回の交流が障害を持った方々が地域で暮らすこと、地域社会の人々とつながって行くことの助けに少しでもなればと願っています。





「とくしま交通安全フェア 2007」を開催

8R・2Z 徳島中央ライオンズクラブ

会長 岩佐 雅功

今年の我がクラブの最も大きな事業として「とくしま交通安全フェア2007」と題して、全国秋の交通安全週間中の9月23日に徳島こども交通公園で開催しました。今回が初めてのアクティビティですが、今までの高齢者のセニアカー運転実技講習会と、徳島市立動物園での交通事故防止キャンペーン、街頭での交通安全キャンペーンなどを総括した大イベントとなりました。

徳島東警察署、徳島東交通安全協会の支援の元で、パトカーや白バイの展示、自動車衝突時のシートベルト効果体験会、高齢者セニアカー（電動車椅子）実技講習会など多彩な内容の一日でしたが、午後より交通遺児支援のためのチャリティバザーで餅つき実演を行い、



大変な賑わいとなって、その販売の収益を寄贈しました。

主に高齢者や児童を対象の交通安全キャンペーンでしたが、長時間の活動で一般の多くの方々も参加があり、新聞、テレビにも、報道されて大きな成果を挙げました。



9 Region

臓器移植キャンペーン

9R・3Z 徳島西ライオンズクラブ

会長 音見 育江

我がクラブのアクトとしては臓器移植キャンペーン「意志表示カード」と銘打って20数年間にわたる街頭パレード、並びに徳島ならではの、秋の「たぬき祭り」での特設ブースでの啓発、地域社会の人々に臓器移植事業の重大さと必要性の認識を深め、その輪を広めていくべく広報活動にとクラブ挙げて取り組んでいる。

又、四献運動「献血・献眼・献腎・献骨髓」も最も崇高な人道的奉仕活動であり、次世代に伝えひとりでも多くの方の理解と協力を呼びかけながら、これからも努力していきたいと願うものである。



徳島市交通遺児支援のための チャリティコンサートを開催

9R・3Z 徳島藍ライオンズクラブ

会長 山路 信子

●2007年10月14日(日)
徳島県郷土文化会館

今期会長方針である『感動あるアクティビティ』を色々検討した結果、音楽が一番喜ばれると思い、地域社会の生活、文化、福祉及び公德心の向上に向けてコンサートを開催しました。幅広く人気上昇中の津軽三味線&ジャズ、時代に沿った「大野敬正 With JKSOUL」をお迎え致しまして、老若男女チャリティへの協力、笑顔と拍手の渦、本当に感動的なコンサートを終えることが出来ました。交通遺児支援にお役に立てた事を嬉しく思っております。



CSFⅡ 特集

合同チャリティー 事業開催

徳島市内4LC
徳島南・徳島城山
徳島マリニピア・徳島すだち

明けましておめでとうござ
います。

会員の皆様には健やかに新年
をお迎えのこととお慶び申し
上げます。

さて、徳島市内4LC（南・
城山・マリニピア・すだち）は、
初めての試みとして、合同で
のチャリティー事業を開催しま
した。

開催にあたり、各クラブより実行委
員を選出し、事業運営方法等を模索し、
今回は、11月23日（金）、徳島眉山CCに
おいて合同チャリティーゴルフコンペ
を実施することとし、ライオンズの誓
い・各クラブの主旨を明記した案内文
を作成し、参加者の理解を求めるなど
工夫をし、各クラブが責任を持って参
加者をつくる事としました。

4LC合同での事業であり、336
「A地区三谷智省ガバナーを始め、福
家正義会計、濱田利男CSFⅡ地区
コーディネーター、森崎定孝副幹事」
にも心よく参加をいただくなど結果とし
て会員49名、一般参加158名、合計
207名もの多勢の皆様ご理解を頂き、
盛大に開催することが出来ました。

チャリティー額は828,000円（実
収益788,100円）と多額の貴重な

浄財を賜ることができました。浄財に
ついては各クラブに配分し、主旨の活
動資金として使用することとしました。
ライオンズクラブのLCIF視力
ファーストIIキャンペーンであるCS
FⅡへも786,055円と多額の寄贈
ができ貢献できたのではないかと思ひ
ます。

今回の合同事業を通じて、市内4L
Cの結束が強まった事を実感すると
もに、今後も合同での事業を継続でき
るよう願うものであります。

最後になりますが、本事業にご理解
頂き、参加頂きました皆様、又、協力
頂きました4LC会長、実行委員、会
員の皆様、本当にありがとうございます
した。

今後4LCの益々のご発展と、参加
者の皆様、及び会員のご健勝を祈念し
報告にかえさせて頂きます。

実行委員長 徳島城山ライオンズクラブ
第二副会長 田中 充夫



結成50周年記念 「第18回ライオンズ チャリティーコンサート」

5R・2Z 観音寺ライオンズクラブ
会長 高田 美孝

観音寺ライオンズクラブでは結成50
周年記念事業として、2008年1月
11日に観音寺市民会館大ホールに於い
て「第18回ライオンズチャリティーコ
ンサート」ウィーン交響楽団ヨハン・
シュトラウスアンサンブルニューイヤ
コンサートをCSFⅡキャンペーンと
して開催いたしました。

当日は予想以上に寒い夜でしたが、
1,143名の方々が来場されました。
会場内は、ウィーン交響楽団ヨハン・
シュトラウスアンサンブルの美しく、
美しい、素晴らしいコンサートに感動
一杯の雰囲気となりました。

公演後には多くの人たちから「素晴
らしいコンサートでした、次回を楽し
みにしていますよ」といった
感想を多数いただき、地域社会
の文化振興に貢献できましたこと
にメンバー一同大変勇気づけ
られました。

今回、皆様からチャリティー
していただきましたご芳志
571,500円は、全世界の失
明危機者救済のためにライオン
ズクラブ国際財団（LCIF）
へ寄付させていただきます。





「おまつり村広場でCSFⅡ チャリティー・ライブ」

大洲ライオンズクラブ

会長 宮下 利秋

市街地を二分するように一級河川「肱川」が流れる「伊予の小京都大洲」。

復元された大洲城を対岸に仰ぎ見る肱川緑地公園に於いて、大洲まつりのイベントの一つ「おまつり村」が11月3日に開催されました。

晴天に恵まれたこの「おまつり村広場」には、市内外から多数の各種団体・企業・商店等の出店が並び、1万人を超える市民や子供たちで賑わいました。大洲ライオンズクラブも毎年出店をし、子供たちのために「積み木遊び」や無料の「バールンアート」で喜んでもらっています。

今年は「CSFⅡキャンペーン」として、テントブースを増やして、チャリティー・ライブを計画いたしました。事前のPR活動として、地元ケーブルテレビに告知していただき、当日はたくさんの人たちに参加していただきました。ライオンズメンバーのライブ演奏や市民の皆さんが歌う時の伴奏などで、募金箱に寄付をしていただいたり、子供たちがお財布からお小遣いを募金箱に入れてくれたりと、本当に貴重な浄財がたくさん集まりました。当日は、高知キャビネットからも松岡副幹事さんをはじめ総勢四名での参加をいただき、プロはだしの歌声を聞かせていた

だき、大変感謝いたしております。そのほかにも、キャラメルポップコーンやかき氷も販売し、その収益はすべて「CSFⅡ」に寄付されます。

最後に松岡3R担当副幹事さん、永井7R・1ZCさん、岡林YE・国際協調委員長さん、クラブ会員を代表して心より御礼申し上げます。ありがとうございました。



チャリティー大ハザールを開催

高知とさみずきライオンズクラブ
会報委員長 中西 由美子

2007年11月22日(木)、サウスブリーズ・ホテルの2Fに於いて、CSFⅡとライオンズクエスト・プログラムの事業資金獲得の為、チャリティー大ハザールを開催いたしました。

今年の出店舗はLC関係者以外の方々を含め、19店となりました。LCの取り組みを理解し、売上金額の20%をとさみずきLCに寄付して頂き、ご協力下さいました。また、今回は障害者施設から「すずめ共同作業所」、「三角広場」及び「レネー」の参加がありました。こちらからは売上からの寄付はいただく、ブースを提供し、一緒に商品で売ること、交流ができました。平日にもかかわらず、チラシや口コミで知ったおよそ250名の方々が、足を運んで下さり、大変盛況となりました。おかげで、とさみずきLCの目標が達成できました。



日韓ショートステイ 日韓青少年親善交流—帰国報告会

2007/12/26 ~ 2008/1/5
2008/1/12 (土) 三翠園



昨夏の韓国からの青少年訪問をうけ、336-A地区高知キャビネットから韓国の354-D地区（趙南吉総裁金貴煥姉妹地区青少年交流委員長）を訪問した、7人の派遣生の帰国報告会が2008年1月12日(土)三翠園にて、保護者の方や地区役員等22名の出席により開催されました。

岡林Y.E国際協調委員長の絶妙な司会のもと、三谷地区ガバナーの挨拶に始まり、北川委員長から帰国報告、そして派遣生のみなさんのスピーチへと続き約2時間の会は、和やかに終了しました。

派遣生の感想では「ためになったよかった」との声が多く、永く続けてほしいとの気持ちを込めて「この交流って続くんですか？」の言葉で帰国スピーチは締めくくられました。

運営には色々の課題があると思われるが336-A地区と354-D地区との交流の一環としても繋がってけばステキですね。

地区誌編集委員 S

スケジュール (抜粋)

- 12/26 14:10 仁川空港着
17:00 歓迎会 後
ホストファミリーへ
- 12/27 ハンゲル教室
- 12/28 景福宮・民俗博物館・
青瓦台・仁寺洞
- 12/29 ソウル内観光～後
ホストファミリー宅へ
- 12/30・31・1/1・2
ホストファミリーと
- 1/3 海剛陶磁美術館
- 1/4 地区総裁訪問 等
出国準備
- 1/5 9:50 出国高松へ

おはしは重かったけど料理
はとってもおいしかった。



中西 千尋



甲藤 夕佳

この経験を今後の生活に
いい形で取り入れたい。



中西 美優



門脇 裕子

ホストファミリーの皆さん
ありがとうございました。

ためになりました。

韓国のキャビネットの人って
とってもやさしかった。



長野 衣里子



中西 裕貴



岸 愛花

ごはんがおいしかった。

おみやげにもって
行ったケンピが大好評でした。

この交流って
続くんですか。

チマチョゴリを
着てみました。

手作りのピアスをお土産
にいただきました カム
サンハムニダ。





韓国ショートステイを体験して

門脇 裕子

柏ライオンズクラブの皆様の厚意で韓国に留学させて頂いて楽しい11日間を過ごして頂くことができました。初めての海外で、不安なことは沢山ありましたが、私以外6人の留学生がいて少し安心して出発できました。

韓国に着くとたくさんの方々に迎え入れていただき大変嬉しかったです。ホームステイ先の家族の方々も親切で優しくしてくれました。

いろんな所を観光したり、チマチゴリを着せてもらったり、韓国民俗村へ行って昔の建物や食事、暮らしなどを見学して韓国の歴史を少し勉強できました。チマチゴリは、見た目はゆつたりしていて日本の着物より着やすそうでしたが、実際に着てみると胸が締め付けられて息苦しかったです。また、韓国民俗村で見た昔の風景は、あまり日本とかわらないのかなと思いました。

韓国の食事ははつきり言って口に合わなかったです。キムチも日本の方が美味しいと思いました。が、ビビンバだけはとても美味しかったです。

あと一番困ったのは、やはり言葉が思うように伝わらないことでしたが、辞書を引きながら片言の英語でなんとかしました。

ときどき一緒に行った留学生と合流することがあり、青瓦台へ行ったときは、ちょうど雨が降っていてとても寒かったです。また、中一の女の子のホームステイ先にも三日間お世話になり違う家庭も見ることができて良かったです。

韓国は高知よりもかなり寒かったです。分厚いコートやマフラー、手袋を頂いたり、お土産も持って行った以上に頂きました。また、いろんなことを経験させてくれたし、ほんとに親切でよくしてくれました。家族以外のライオンズの方々も優しく接してくれて、留学中に心細い思いは全くなかったです。

今回の留学で、異国の文化や人々と触れ合うことができた大変良い経験になりました。

この経験をこれからの学生生活に活かして、英語の勉強も頑張りたいと思います。

留学させてくれた両親、ライオンズの方々ありがとうございました。

姉妹地区青少年交流委員長

金貴煥

新年お目出度う御座居ます。

今日（1月4日）地区の新年会に参席迄で公式スケジュールは終り、明日の朝6時にシテイターミナル経由、仁川で出国します。

交流学生の皆様は非常に立派な学生さんでした。性格も明朗でホストともすぐに染んでくれましたので大変気安くそして楽しく過したとのホスト家庭の話でした。

何かと行き届かなかった所もあったと思いましたが、難無く無事に終らせて頂きましたことを感謝しております。陶磁体験の時に雪滑りをしました。高知ではよく見られない雪ですのでみんなが楽しくたわむれるひと時でした。

又、桃の苗木の件ですが、今日電話で問い合わせましたが、学名並に中国名は初耳のようでした。



さらなる五〇周年を誓って… 丸亀ライオンズクラブ創立 五〇周年記念大会

50th

二〇〇七年一〇月二八日十六…〇〇
ホテルオークラ丸亀を開場とし、創立五〇周年式典が開催されました。高松LCをスポンサーとして結成式を一九五七年二月二三日、一〇月一日には丸亀商業高校体育館にて二〇〇名の出席者の中で認証伝達式を終えて半世紀が過ぎました。

式典には、姉妹クラブである台湾彰化懸獅子会より一〇名、七尾LC（石川県）から二一名、一般ご来賓には香川県副知事をはじめ九名、三谷智省地区ガバナーを筆頭にライオンズ関係来賓は十八名、スポンサークラブとブラザークラブからの出席者を含め三三六名を前にして開会宣言を和田治幸大会委員長、小野俊一郎会長の開会ゴングでクラブ歴史に刻む記念式典が厳粛な中に盛大に開会されました。

五〇年の歩みの足跡としては、奉仕事業の記録で多種多様の活動を実施されているのが良くわかりますが、特に一九七五年、離島（本島・牛島・広島・手島・小手島）無料診療、一九八三年、丸亀LC旗争奪少年軟式野球大会、一九九一年、丸亀ライオンズ杯・小学生軟式庭球大会など青少年育成・保健福祉に力を注ぎ、尚且つ現在にまで継続されています。創立五〇周年記念事業としても、丸亀市へ『消防指令車』、うたづライオンズクラブをエクステンション、香川県眼科銀行へ金一封、C

SFIIへ献金、その中でも『消防指令車』においては日本国中どこにいても移動しながら即座に対応できる最新型で、災害時には特に役立つことでしょう。

小野俊一郎会長の挨拶のなかで申されていましたが、結成以来五〇年の永きなかで歴代会長・役員をはじめ会員一同の社会へのためまざる奉仕とクラブ発展への努力に感謝し、その貢献に無駄にしないよう五〇周年を契機に、次なる一〇〇周年に向けて心新たに九四名の会員一同が原点に立ち返り、奉仕と友愛のライオンズを一層高揚し、国際社会・地域社会への奉仕を力強く推進して行かれるとの言葉には歴史の重みを感じさせられました。

時代の流れを敏感に受け止め、336-A地区の古参で在りながら時代に即応した奉仕活動を取り入れ、常に模範であり続けようとする姿勢、そして『さらなる五〇周年』を誓う会員の輝きは感動でありました。

地区誌取材班



今治東LC結成35周年記念事業 （環境部会）

今治東ライオンズクラブ

35th

今治東LCでは結成35周年の記念事業の一環として、大三島の山火事跡地に植樹を行いました。またこの事業は今秋の第32回全国育樹祭のプレイベントも兼ねていることより、愛媛県・今治市（大三島支所）のご協力を得て、地元ボランティアを含め約150名の方々の参加で盛大に行うことができました。

当日は、鶯ヶ頭山頂付近で愛媛県今治地方局の担当者より植樹方法等の説明をして頂いたあと、二人一組に分かれてウバメガシ・ヤマモモ等の苗木を植えていきました。植樹場所は石が多い場所や、シダの深いところ等ありましたが、参加者の皆様の熱意により予定の2時間弱で2000本あまりの苗木を植えることができました。

20年後には苗木が大きく育ち、山火事前の美しい緑の山へと甦っていることでしょう。





35th

三豊ライオンズクラブ
三十五周年記念式典

三豊ライオンズクラブ
会長 曾根 猛

三豊LCは、本年度結成三十五周年を迎え、三谷地区ガバナー始め、韓国S A E晋州LC他、各界のご来賓のご臨席を賜り、盛大に挙行了しました。記念事業として、A E D四台、C S F IIに四万ドル、香川眼病銀行、三豊スポーツ少年団に総額六六〇万円寄贈、事業のA C Tは、薬物乱用禁止キャンペーンを皮切りに、韓国S A E晋州LCとのY E派遣学生事業、今回で十六回、献血奉仕三回、「青少年に心の豊かさを」スローガンに揚げ、青少年健全育成事業に重点をおき、左記のA C T実行

1先生にありがとうのハガキ小学校二十三校・小学生一二五〇名・ハガキ二五〇〇枚贈呈、賞品には健全で豊かな心を育成するという事で、優秀な色鉛筆十二本入りを全員に配布しました。

2比地二スポーツ少年団の第三十回後援旗争奪ソフトボール大会に援助協賛しました。

3三豊市福祉まつり第一回市と共催で恐竜やカブト虫のキットの組立や餅つき、パットライスと子供達の想い出に、メンバー全員による奉仕事業を盛大に挙行。

4継続事業として保育所での餅つき三十五周年にわたり六十六白・園児七四〇名。

5三豊市青少年少女発明クラブ 特許庁の

補助金が三年目で切れるので、青少年事業の一部として支援金を出しています。科学する心や創造力を養い、優秀な子供達が大きく育っています。文部科学省主催のものづくり全国大会に、県代表として二名が出場、参加者代表として選手宣誓をしています。これからの日本は、科学的応用力やものづくりに我々ライオンズクラブも、こういう指導にあたっている、発明クラブに対して出来るだけ協力して支援していきたいと思っています。



●大会スローガン

54th ANNUAL CONVENTION

「燃えたぎる
よさこいと 龍馬のところで
ウィサーブ」

大会スローガン「燃えたぎる よさこいと龍馬のところで ウィサーブ」のもとホストクラブ全員が「感動」を体感できるそんな大会の実現を願い準備を進めています。

土佐のお客をおもてなしする心で皆様方をお待ち申し上げますので、来る4月12日(土)・13日(日)の2日間クラブ内でお誘い合わせの上たくさんのご参加ご登録賜りますようお願い申し上げます。



第54回
地区年次大会

大会プログラム

4月12日(土)

- ◇記念ゴルフ 8:00～
Kochi黒潮カントリークラブ
土佐カントリークラブ
- ◇日韓親善国際交流の夕べ 18:30～
城西館

4月13日(日)

- ◇指名選挙会 8:00～9:00
県民文化ホール(グリーン)
- ◇代議員分科会 9:30～10:30
第1分科会(県民文化ホール(グリーン))
(会員・会則・EXT・指導力育成・プロトコール委員会・PR・ライオンズ情報・大会参加委員会)
- 第2分科会(三翠園)
(青少年・LCIF・市民奉仕・児童奉仕委員会・YE・国際協調委員会)
- 第3分科会(三翠園)
(環境保全・保健福祉委員会)
- ◇代議員総会 11:00～12:00
県民文化ホール(オレンジ)
- ◇大会式典 13:00～14:30
県民文化ホール(オレンジ、グリーン)
- ◇ガバナー晩餐会 15:00～ 三翠園

2007～2008 年度



YE 冬期スキーキャンプ

2007

12月22日～24日

336-A地区

YE・国際協調委員長

岡林 啓仁

去年、12月22～24日の2泊3日で、YEスキーキャンプに参加をしました。YEキャンプは、A・B両地区合同で、夏（A地区）と冬（B地区）行われています。今年は、マレーシアから8名、オーストラリアから1名の合計9名の受入生の参加で、岡山県新見市、新見千屋いぶきの里というところ（人工スキー場）でした。実は毎年大山で実施していたのですが、今年は暖冬で雪がなく、急遽変更となった次第です。

A地区からは、6RのYE委員の畑山さん（高知北LC）と二人で、4人の受入生とともに参加、畑山さんには大変お世話になり、ありがとうございました。



336-B地区小田ガバナー開村式挨拶





これで私は、夏(担当なので計画から引率まで、大変でした。)と冬の両方のキャンプを体験しました。結論として、こんな楽しいアクティビティは初めてです。出来れば、毎年参加したいと思うほどです。出来るだけ多くのライオンに体験して欲しいと思っています。

最後になりましたが、お世話になりました、受入ファミリーの皆様、B地区信原YE委員長、をはじめ、全ての皆様にお礼を申し上げます。ありがとうございました。

日程は、22日昼に岡山駅前ミヨシノにて開村式、バスにてスキー場に移動。宿に到着後、スキーウェアなどの準備をして、温泉に浸かり、就寝。

2日目の23日は終日スキー実習です。マレーシアの子は殆んどの子が、降っている雪を見た事がないとのこと、何とか雪が降らないかと思っていました、なんと、雨が…ありやうや。

24日の最終日も午前中スキー実習の予定が、雨のため殆んど滑れずに終わりました。

天候は大変残念でしたが、マレーシアの子が大変楽しい子が多く、ゲームをやったり、一緒に温泉に浸かったりと、私たちも楽しく過ごせました。

2日目の23日は終日スキー実習です。マレーシアの子は殆んどの子が、降っている雪を見た事がないとのこと、何とか雪が降らないかと思っていました、なんと、雨が…ありやうや。

24日の最終日も午前中スキー実習の予定が、雨のため殆んど滑れずに終わりました。

天候は大変残念でしたが、マレーシアの子が大変楽しい子が多く、ゲームをやったり、一緒に温泉に浸かったりと、私たちも楽しく過ごせました。



第2回キャビネット会議

日時 2007年11月11日(日)
午後一時三十分～四時三十分
場所 三翠園



第2回キャビネット会議は、高知市三翠園で三谷地区ガバナーをはじめR C・Z C・委員長ほか約70名が出席し開催された。
今回のメインテーマは、第54回地区年次大会に関する事柄で、実施要項案・大会組織表案・収支予算案・分科会構成案等が審議された。そして2006(2007年度会計収支決算・ガバナーズアワードの追加設定など7項目の審議事項は原案通り、可決承認された。また17の確認、報告事項も全員の了承のもと第2回キャビネット会議は終了した。

キャビネット会議が開催されました



第3回キャビネット会議

日時 2008年2月17日(日)
午後一時三十分～四時三十分
場所 坂出グランドホテル



第3回キャビネット会議は、次期地区ガバナー立候補予定者の地盤の坂出市坂出グランドホテルでの開催となった。
2009(2010年度)国際第二副会長立候補者及び国際理事立候補者の推薦や、山地章靖次期地区ガバナーエレクト立候補予定者(坂出白峰ライオンズクラブ所属)の所信など、15項の審議事項は承認された。続いて24の報告事項4件の資料等も確認了承され無事閉会された。
尚、次期キャビネット事務局は、当日午前十時三十分の開所式を行い、坂出グランドホテル内に開設され活動を開始した。



第46回東洋・東南アジアライオンズフォーラム

第46回東洋・東南アジアライオンズフォーラムが韓国・大邱(テグ)にて、2007年10月12日～15日の4日間、テーマ「LIGHT(光)」のもと、16ヶ国、約25,000人(内海外約10,000人)が参加し、姉妹提携している354LD地区はもとより、各国のメンバーと、光栄なる未来について語り、親交を深めました。





第2回

四国女性ライオンズフォーラム

高知桜ライオンズクラブ
会員理事 三谷 英子

平成19年12月2日(日)、高知市のRK調理師学校において、「第2回四国女性LCフォーラム」が開催されました。四国の女性LCが、2年に1回集まり、形式ばらず無理のないかたちで、楽しく自由にものを言う場とし、6クラブが結成順に持ち回りで開催、2回目は今年は高知桜が担当となりました。三谷智省地区ガバナーを始めキャビネット役員・委員もお迎えし、総勢75名の和気あいあいとした会となりました。何しろ「経費はかけず、手をかけて」が桜のモットーです。甲藤委員長、山崎会長を中心に、会場、設営、講演会講師、料理に至るまですべて会員自身によるもの。午前中に各クラブの近況報告や意見交換。昼食は高知県の食材をふんだんに使った郷土料理。午後の講演は松崎淳子会員が「食をとりまくこのごろの話題」というテーマで、専門の伝統食やメタボリックシンドロームについて、楽しくわかりやすい話。「目からウロコ」と好評でした。大いに英気を養って、2年後の徳島での再会を約しました。



ちょっとしたきっかけで始めたMJF!

高知南ライオンズクラブ 溝渕 義雄

私が入会した数ヶ月後に、当クラブの「入会のお勧め」のパンフレットが刷り上がり、例会で全員に配られた。その中にライオンズクラブは奉仕団体です、「知恵を、労力を、金銭を出し合い無償の行為を積み重ねる団体」として記載されていた。私がドネーションをさせてもらう時に当時の初代千頭会長から、「ライオンズクラブにMJF事業がある、そちらの方へ協力してはどうか」と言われた。私は、何もわからず「そうですか、お願いします」と言つて、MJFを平成5年5月頃にさせてもらったのが第1回目の始まりでした。

毎年、MJFをさせてもらう中でライオン誌を毎年読み、発展途上国の子供達が病で視力を失い1人では学校へも行けず自分で自分の面倒もできない生活を続けています。しかし、子供達の大半は失明の予防が可能だと言う。それには施設、設備、それにスタッフはまだ不足している。私に何か協力できる事がないだろうか考えさせられた!



10回ごとに贈られた記念の
メルビン・ジョーンズ・フェロー
アワード・ラベル・ピン



2008年6月にタイのバンコクで、第9回ライオンズクラブ国際大会が開催される。今回、MJF第102回の受賞で表彰台に立った時、高知南ライオンズクラブの名を国際大会の大きな大きな世界の舞台で呼ばれる事が私の最高の喜びです。

子供達は大きな夢や希望を持って今日を生きようとしています。その子供達がある日、目が見え自分の顔を初めて見た時どんなに嬉しいでしょう。私の小さな力でも15年間奉仕活動を続けてこれたことに私は嬉しく思います。

特別寄稿

かがわり合い 育ち合う

1 R - R C

井門 照雄



Profile

松山ホストライオンズクラブ

いど てるお
井門 照雄

【経歴】

1981～1982	幹事
1982～1984	理事
2002～2003	会長
2004～2005	1 R - P R ・ ライオンズ情報委員
2005～2006	1 R - I Z C
2007～2008	1 R - R C

2月16日朝、私は昨年松山にオープンした「坂の上の雲ミュージアム」に向かった。それは「まつやまインフォメーション」を活用した映像制作発信事業」の「中学生映像制作発表会」へ参加するためだった。

松山市には、13ヶ所に「まちなか発信端末」があるが、そのプラズマ画面で新しく流す映像の発表会である。4校の発表の最後、松山市立西中学校の「中島の空の下（もと）」が始まった。これは西中学生徒会役員が「中学生ジュニア研修会（2007海の部）」に参加し、自分たちの様子や変化を映像に記録し、そこで学んだことを二学期の学校行事に生かしている姿までを追跡取材したもので、自分たちの成長の記録を通して、「まつやまの人づくり」を表現した作品であった。

ここで「中学生ジュニアリーダー研修会」について紹介したい。

私の所属する松山ホストライオンズクラブは、平成16年に創立50周年記念大会を迎えた。この時アクティビティを行うにあたって、これからの子どもたちに何をなさなければならぬか、そしてそれは継続され、子どもたちのためになるのかを視点に具体的作業に入った。愛媛大学、小中学校校長、教師、さらにOBを入れ、教育委員会にも参加してもらい検討を行った。そこでまとまったテーマが、イジメ・不登校・非行・薬物問題のない学校・地域づくり「みんなの居場所としての学校・地域を創る生徒会活動の育成」であり、愛媛大学、松山市生徒会連合会、松山市教育委員会と協働で行うこととなった。

最初は、文部科学省の予算カットで活動が中断しそうだった薬物問題とした。この問題は、将来目標の欠如、人間関係の問題、自尊心の低さ、問題解決能力の問題、ライフスキル（social skill）の未定着といった教育上の問題と密接に関わっていたからであり、さらにイジメや非行行動を行う生徒、それを見ていながらその解決に向けた行動ができない生徒といった、教育問題と共通の課題を抱えていたからである。活動のポイントを「明るい人間関係の醸成」と「ライフスキル」とし、この事業では教師主導の活動でなく、子どもたちの主体的な活動によって行っていくこととした。

そしてこの事業も本年度4年目を迎え、新たな参画団体に「松山特別活動主任会（教師集団）」「NPO法





人えひめ子どもチャレンジ機構」が加わり、大学生・中学教諭・NPOによる「中学生ジュニアリーダー研修会」と位置づけて、瀬戸内海の中島中学校・青潮寮等を主会場に1泊2日の研修事業を行った。

5月の特別活動主任会へのプレゼンテーションの後2ヶ月かけて事業内容を協議していった。その結果、今年の研修の目的は、子どもたちと「試練」を与えること、多様な出会いとグループにおける協働・競争・交渉体験を通じての、リーダーフォロワー、ライフスキルアップ研修とした。松山市内の9校から46名の生徒会役員と教諭・大学生そして我々の総勢97名が集合し、スタートした。

《3つの試練》

①「指示を出さない」

1日目の活動は、開会式も何もなく船に乗り込ませ、そこで1人の名前を書いた紙だけを渡す。そしてその人を探すことを最初の試練とした。それがリレー形式となっていて班員を集める仕組みである。このように無作為に選ばれる8グループが形成された。この時点での子どもたちは大変不安そつであった。

②「活動に応じて地域通貨の確保」

集団により影響を与えた言動や、課題達成に貢献した働きかけに地域通貨「ナイス」と「ガッツ」が与えられる。自分の行動が目に見える形として自分の手元に返ってくる仕掛けである。そしてこのカードはその後の夕食づくりにおける調理器具と交換できるようにになっている。さらに食材も班ごとに違うものを用意しておき、お互いに貿易ゲームのように交換交渉することで足りないものを調達していく。この頃になると子どもたちに笑顔がこぼれるようになっていく。

③「自分で考える」

「想いと言葉、そしてあたたかい将来」というワークシヨップを実施、タイムマシンワークでは、ボロボロ泣き出す子、大学生にすがりつく子、がいて、子どもたちの心が震え出しているのがわかる。この時点で子どもたちは時間と空間と思考を共有し



始めたのではと思った。

その他大学生による「あたたかい居場所」ワークシヨップなどを行って、この活動は終了した。子どもたちが涙で別れを惜しむ姿は感動的でもあった。

そしてこの2日間の成長とその後の活動を映像化したものが「中島の空の下で」である。

この活動を通じて、子どもたちの顔つきが変化し、「居場所探し」でなく「居場所づくり」が大切なこと、そして何より子どもたちの強い可能性を発見したことに喜びを感じている。この可能性を信じサポートすること、そしてその「居場所づくり」に協力していくことが今後とも必要なことだと感じている。

ライオンズクエストも子どもたちを対象としたプログラムであり、定

着まで長い時間を要すると思うが、一緒に努力していきたい。
サポーターとして加わった大学生の感想を紹介する。

大学生代表 川上 佳美

1泊2日という短い時間のうちに子どもたちの成長を目の当たりにすることのできた、内容の濃い活動であったと感じている。

子どもたちの「参加してよかった」という言葉が、我々にとって最高の褒め言葉である。それと同時に、この活動が子どもたち自身の「考え・気づき」により成り立つものであったと改めて実感している。しかし、決して「生徒会のメンバーであったからできた」というものではないだろう。考える力や気づく力は、全ての子どもたちが持っている力であると考えからだ。そしてその力をどう引き出してやるかが重要であるのだとも感じた。

たった2日間であったが、子どもたちに与えた影響は、もしかしたら計り知れないのかもしれない。だからこそ、子どもたちと接する時には「大切な時間を共有しているのだ」ということを決して忘れずにいようと改めて決意した。我々に様々なことを経験させ、また考えさせてくれた子どもたちに心から感謝するとともに、我々からありったけの「ナイス」と「ガッツ」を贈りたい。

336-A地区会員現況

(入退会は累計・2008年1月31日現在)

R	Z	クラブ名	期首	入会	退会	1月末	R	Z	クラブ名	期首	入会	退会	1月末	R	Z	クラブ名	期首	入会	退会	1月末	
1	1	松山ホスト	46	4	1	49	4	1	高松	53	2	2	53	7	1	高知鷹城	58	2	3	57	
		久万	27	2	3	26			小豆島	47	1	4	44			室戸	35	2	3	34	
		松山東	47	1	2	46			小豆島東	35	1	5	31			高知鏡川	57	7	3	61	
		砥部	36	4	2	38			高松葵	34	1	1	34			高知南	34	2	4	32	
		松山つばき	50	4	3	51			高松南	33	0	0	33			高知よさこい	39	2	1	40	
		松山城山	38	0	1	37			高松愛	18	0	0	18			土佐国府	31	7	5	33	
	ゾーン合計	244	15	12	247	ゾーン合計		220	5	12	213	ゾーン合計	254		22	19	257				
	2	松山道後	60	0	3	57		2	高松東	62	5	2	65		2	高知黒潮	74	4	6	72	
		伊予	53	2	2	53			高松西	25	9	0	34			高知桂	61	2	1	62	
		双海	14	0	0	14			直島	28	0	1	27			高知中央	46	0	4	42	
		松山西	49	4	2	51			八栗	35	1	0	36			高知安芸	33	3	1	35	
		松山前	19	2	0	21			高松源平	46	0	3	43			高知りょうま	40	2	2	40	
松山北		36	1	5	32	高松中央	23		2	3	22	ゾーン合計	254	11		14	251				
3	松山湯築	31	1	0	32	5	ゾーン合計	219	17	9	227	8	土佐山田	29	1	5	25				
	松山城東	31	3	2	32		東かがわ	41	4	3	42		土佐本山	19	1	1	19				
	ゾーン合計	293	13	14	292		長尾	62	3	3	62		南国	36	7	4	39				
	北条	34	1	1	34		志度	57	4	1	60		土佐香南	37	0	4	33				
	松山中央	85	3	2	86		三木さぬき	40	3	0	43		大豊	19	0	3	16				
	松山南	42	1	1	42		高松グリーン	27	6	2	31		ゾーン合計	140	9	17	132				
	東温	34	1	1	34		ゾーン合計	227	20	9	238		リジョン合計	648	42	50	640				
	松山金亀	45	4	2	47		高松玉藻	50	5	4	51		徳島	30	1	3	28				
	松山白鷺	58	1	0	59		高松栗林	66	5	2	69		小松島	31	0	2	29				
	ゾーン合計	298	11	7	302		高松屋島	57	1	4	54		徳島南	45	1	0	46				
リジョン合計	835	39	33	841	4	高松紫雲	65	0	4	61	1	徳島北	19	0	4	15					
2	1	新居浜	67	0	2	65	5	1	高松空港	32	0	4	28	8	2	阿波勝浦	38	2	3	37	
		新居浜中央	53	1	2	52			高松北	26	3	3	26			徳島すだち	39	2	0	41	
		新居浜別子	35	1	1	35			ゾーン合計	296	14	21	281			ゾーン合計	202	6	12	196	
		新居浜ひうち	47	1	4	44			リジョン合計	962	56	51	967			徳島中央	26	10	1	35	
		ゾーン合計	202	3	9	196			丸亀	95	1	3	93			石井	24	0	1	23	
		今治	63	3	7	59			坂出	44	3	1	46			徳島城山	49	6	5	50	
	2	今治中央	61	7	0	68		2	坂出白峰	49	4	20	51		3	上板	43	1	5	39	
		今治東	63	5	4	64			綾歌郡	29	1	2	28			徳島吉野川	34	5	2	37	
		今治くろしま	60	0	0	60			丸亀京極	63	0	4	59			土成	35	2	1	36	
		今治サーチング	28	3	2	29			うたづ	0	46	0	46			ゾーン合計	211	24	15	220	
		ゾーン合計	275	18	13	280			ゾーン合計	280	55	12	323			阿南	62	1	5	58	
		伊予三島	42	5	4	43			観音寺	39	3	1	41			日和佐	29	1	2	28	
3	川之江	56	1	3	54	1	善通寺	46	2	4	44	9	1	徳島東	39	5	1	43			
	伊予土居	41	2	0	43		多度津	40	1	2	39			徳島マリニピア	54	3	5	52			
	伊予三島法皇	40	3	0	43		三豊	66	3	5	64			阿南リパティ	33	0	1	32			
	川之江中央	31	4	1	34		こんぴら	42	0	1	41			ゾーン合計	217	10	14	223			
	ゾーン合計	210	15	8	217		観音寺中央	27	5	1	31			リジョン合計	630	40	41	629			
	西条	51	4	1	54		ゾーン合計	260	14	14	260			徳島眉山	38	1	0	39			
	東予	43	0	0	43		リジョン合計	540	56	7	583		鳴門	58	4	1	61				
	4	伊予小松	20	1	3		18	1	高知	48	4		1	51	9	2	藍住	49	0	2	47
		西条石鎧	59	0	0		59		高知柏	69	8		3	74			板野	34	3	2	35
		ゾーン合計	173	5	4		174		高知東	59	2		3	58			松茂徳島空港	30	2	4	28
1		高知北	40	1	1	40	2		高知桜	40	2	0	42	3			鳴門西	27	0	0	27
		高知桜	40	2	0	42			高知とさみずき	21	1	1	21				北島	54	4	2	56
		ゾーン合計	277	18	9	286			ゾーン合計	277	18	9	286				ゾーン合計	290	14	11	293
	須崎	57	5	5	57	6		2	土佐	52	1	2	51		9	2	阿波池田	38	2	2	38
	伊野	31	1	1	31				須崎	57	5	5	57				脇	37	1	1	37
	佐川越知	30	1	2	29				伊野	31	1	1	31				三加茂	25	1	2	24
中土佐	24	2	1	25	佐川越知		30		1	2	29	半田	28	3			0	31			
ゾーン合計	194	10	11	193	中土佐		24		2	1	25	ゾーン合計	128	7			5	130			
四万十	49	0	2	47	ゾーン合計		194		10	11	193	徳島西	38	1			3	36			
3	2	土佐清水	53	5	3	55	7	3	宿毛	30	1	4	27	3	鴨島	40	2	3	39		
		窪川	26	4	3	27			大正	14	0	0	14		阿波	45	3	7	41		
		大正	14	0	0	14			四万十	49	0	2	47		徳島国府	25	2	1	26		
		ゾーン合計	201	14	15	200			土佐清水	53	5	3	55		神山	26	6	0	32		
		リジョン合計	672	42	35	679			宿毛	30	1	4	27		徳島藍	33	2	2	33		
		ゾーン合計	201	14	15	200			窪川	26	4	3	27		ゾーン合計	207	16	16	207		
	総合計	6318	395	337	6376	リジョン合計		672	42	35	679	総合計	6318	395	337	6376					

※2007年7月1日施行新リジョン番号にて表記しています

※2007年7月1日施行新リジョン番号にて表記しています。



物故会員

慎んでお悔やみ申し上げます
①氏名・享年 ②LC名 ③入会年月日 ④没年月日



(2007年10月1日～
2008年1月31日)



①大倉 重克 (75歳)
②7R-2Z 高知黒潮
③1992年12月10日
④2007年11月11日



①佐藤 清 (63歳)
②5R-1Z 綾歌郡
③2005年7月20日
④2007年11月 9日



①當山 道明 (70歳)
②7R-1Z 高知鏡川
③1978年12月16日
④2007年10月17日



①内田 一男 (83歳)
②7R-2Z 高知黒潮
③1961年6月
④2007年10月15日



①曾我部 修 (70歳)
②2R-2Z 今治
③1984年2月2日
④2007年10月12日



①山本 廣太郎 (72歳)
②6R-2Z 佐川越知
③1977年2月
④2007年12月19日



①綾 義隆 (86歳)
②5R-1Z 坂出白峰
③1972年11月
④2007年12月10日



①細川 誠 (48歳)
②7R-2Z 高知中央
③2003年11月12日
④2007年12月 7日



①加藤 正夫 (63歳)
②5R-1Z 丸亀京極
③1994年1月4日
④2007年12月 6日



①河野 世津子 (59歳)
②8R-2Z 徳島吉野川
③1991年11月2日
④2007年11月27日



①安藤 征矢 (63歳)
②5R-2Z 三豊
③2003年9月
④2008年 1月 8日



①向阪 信也 (72歳)
②4R-2Z 高松東
③1969年10月28日
④2008年 1月 5日



①村上 五郎 (68歳)
②3R-1Z 大洲
③1972年10月
④2007年12月26日



①植本 義明 (67歳)
②4R-4Z 高松紫雲
③1975年3月31日
④2007年12月25日



①中田 大藏 (80歳)
②6R-1Z 高知柏
③1984年8月28日
④2007年12月24日



①川本 徳雄 (78歳)
②7R-3Z 南国
③1981年3月
④2008年 1月30日



①丸川 力 (78歳)
②4R-1Z 小豆島
③1988年10月6日
④2008年 1月17日



①酒井 哲夫 (79歳)
②3R-3Z 鬼北
③2000年10月26日
④2008年 1月14日



①織田 政毅 (66歳)
②1R-3Z 松山中央
③1979年10月9日
④2008年 1月14日



①竹田 貞美 (83歳)
②8R-1Z 阿波勝浦
③1980年10月15日
④2008年 1月12日

編集・後記



今期も折り返し点をすぎ、あっという間に下半期に入り、時の早さに驚いています。地区誌も第3号発刊に向け、編集委員会も濃密になり、活発な意見でまとまり、3月下旬の発刊を予定しています。巻頭には三谷地区ガバナーの下半期に対する決意・活動方針などを掲載しました。

上半期における各クラブのアクティビティ、活動状況などの紹介として、各クラブの会長様方に記事・写真などお願いしたところ80編を越える応募があり、うれしい悲鳴をあげた次第です。なんとか全てを掲載しようとして、地区誌全体32頁の約半分をアクティビティの紹介としました。ご投稿誠に有難うございました。

特別寄稿は1RC井門照雄様に執筆をお願いし「かわり合い、育ち合う」をテーマで寄稿いただき、これからの子供たちに何をなさなければならぬか、についての体験談をリアルに語っていただいています。

表紙を飾る写真は、屋根のある橋、御幸の橋、で、丁度雪を被った状態なので、より屋根が鮮明に目に映りますが、何故屋根なのか理解に苦しみながら、あてやかな「花魁」が橋のたもとに立っていたであろう往時を想像するも一興かな、と思います。

地区誌編集委員会(M)

視力ファーストⅡキャンペーン

視力ファーストによって、
既に多くの人々が救われています。
彼らの喜びと感謝の思いをご紹介します。



ぼくのおばあさんは、わかいときに河川
失明症で目が見えなくなりました。だから、
いつもお母さんがおばあさんのお世話を
しています。

おばあさんの小さいころは、このこわい
病気にかかる人がたくさんいたそうです。
でも、ライオンズの人たちがメクチザン
という薬を持ってきてくれたので、いま
ではもう目が見えなくなる人はいません。
ほんとうによかったです。ライオンズの
みなさん、どうもありがとう。

(メキシコ・バリオブラジル)



わたしのおじいさんは、このまえ、ライ
オンズの病院で白内障という病気をなお
してもらいました。

病院へ行くライオンズのバスに乗るため
に、とても遠くまで歩いたけれど、ほん
とうによかったと思います。

おじいさんは病院で手術をしてもらっ
て、目が見えるようになりました。

目が見えるようになってから、おじい
さんはいつも、「ライオンズの行いに神さ
まのご加護がありますように」と言っ
ています。わたしも、いつもそうお祈りし
ています。

ライオンズのみなさん、ほんとうにどう
もありがとう。これからもがんばってく
ださい。

(インド・パラコール)



いっぱいのありがとうを みなさんにお届けします。

◆第54回地区年次大会

大会スローガン

燃えたぎる よさこいと龍馬のところで ウィサーブ

土佐のお客をおもてなしする心で皆様方をお待ち申し上げます。

●2008年 4月12日(土)・13日(日)

●高知県立県民文化ホール ●三翠園

2007～2008年

ライオンズクラブ国際協会

336-A地区 高知キャビネット事務局



We Serve

〒780-0862 高知県高知市鷹匠町1-3-35三翠園6F

TEL 088-826-6830 FAX 088-826-6840

E-mail : kochi48@lc336a.gr.jp

URL : <http://www.lc336a.gr.jp/>